

## 麻生区区民会議 第5回安全・安心のまちづくり部会 議事要旨

- 1 開催日時：平成25年2月12日（火）午後3時～午後5時25分
- 2 開催場所：麻生区役所第4会議室
- 3 出席者：[安全・安心のまちづくり部会委員]  
村主委員、高倉委員、加賀美委員、久保倉委員、田中委員、長谷川委員、  
吉田委員  
(梶委員、高瀬委員、横山委員は欠席)  
[事務局]  
安生企画課課長、白石担当係長、藤江、小田
- 4 傍聴者 1名

### 5 議 事

#### (1) 調査審議課題の具体的検討について

##### ①「大地震から助かる命を守る」ための具体策検討シートの修正確認

###### 【説明事項】資料1-1～1-2について

- ・ 事務局より資料1-1・1-2をもとに「具体的検討シート」（整理後）を説明。
- ・ 修正追加箇所（火災予防・家族との事前取り決め）の2箇所を説明。
- ・ 資料1-1・1-2は全体会の資料とする。

##### ②最優先テーマの活動内容について

###### 【説明事項】資料3-1～資料7について（資料5を除く）

- ・ 事務局より資料3-1～3-5について説明。
- ・ 「住宅土地統計調査」の統計は区単位が最小、麻生区は昭和55年（1980年）以前の建物は住宅全体13,700戸、木造のみ7,430戸、持ち家37,020戸のうち住宅の耐震診断したことがあるのは6,790戸（18.3%）。（資料3-2・3-3）
- ・ 「川崎市の土地利用状況」から、平成17年度現在で全木造建築物の延床面積から築20年以上（昭和60年以前）の木造建築の割合を地図で表したもの。（資料3-4）
- ・ 「川崎市の土地利用状況」から、平成17年度現在で町丁別（一部は町をA Bなどに分割して表す）に、建物年齢別（木造）延床面積の合計を出したもの（棟数ではない）。（資料3-5）
- ・ 事務局より資料4-1～4-2について説明。
- ・ 消火器等の設置推進・啓発、住宅用火災警報器の設置推進について説明、麻生区・宮前区で街頭消火器の設置はなく、今後配置する事を検討中。
- ・ 事務局より資料6-1～6-3について説明。
- ・ 麻生区災害対策連絡協議会では、事前対策をどこまで守備範囲にするかを確認してい

く必要がある。区民会議との連携については、違うアプローチになると考えられるが、特性を活かす方向で考える。

- ・ 麻生区災害対策連絡協議会との連携として、協議会にコンタクト窓口としての役割を担ってもらう方向もある。
- ・ 事務局より資料7-1～7-2について説明。
- ・ 川崎市地震防災戦略（改訂素案）及び抜粋について、最優先テーマに関する部分（耐震化の促進・防災住環境の整備・地域における防災環境の整備・企業等との連携強化・防災意識の醸成）を説明。

#### 【主な質疑】

（住宅土地統計調査資料について）

- ・ 木造と防火木造の違い
  - ◆木造：建物の主な構造部分のうち、柱・はりなどの骨組みが木造のもの。ただし、「防火木造」に該当するものは含めない。
  - ◆防火木造：柱・はりなどの骨組みが木造で、屋根や外壁など延焼のおそれのある部分がモルタル、サイディングボード、トタンなどの防火性能を有する材料でできているもの
- ・ 調査方法
  - ◆抽出調査（1調査単位区当たり17住戸、計約350万住戸・世帯を対象）

#### 【説明事項】資料2-1～2-3について

- ・ 高倉委員から、必要な基本スタンス・対応内容・活動推進の方法及び内容等について説明。
- ・ 田中委員から、検討の進め方・具体策の提案について説明。
- ・ 吉田委員から、家屋の倒壊防止・家具の転倒防止について説明。

#### 【主な意見】

（取り組みの方向性について）

- ・ 楽観バイアスをシリアスに捉えられるように転換し、啓蒙していく。
- ・ 優先順位を付けて基本的な部分を踏まえて取り組む。
- ・ コミュニティ及び地域の居住者が仲良くすることが重要であり、隣近所の一体化が大切（人間関係の構築）。

#### 【説明事項】資料9について

- ・ 村主部会長から、課題ごとの対応内容・活動計画（案）について説明。

（活動計画案）

- ・ モデルプロジェクトの実施（特定グループ）。
- ・ 学校教育との連携（総合的学習の活用）。

#### 【主な意見】

（活動計画案について）

- ・ 子どもの教育（子どもとの協働）から進めて、大人への促進につなげることは期待で

きる。

- ・ 幸消防署では、災害図上訓練（D I G）を取り入れて学校を巻き込んだ防災への取り組みを進めている。

#### （取り組みの方向性について）

- ・ 具体的にどうすれば進むのかを検討することが重要。
- ・ モデル（実例を示す）として取り上げ、マスコミを通じてPRしていく。
- ・ メリットを強調しすぎるとメリットがないと参加しないという人も出てくる。メリットと義務のバランスが取れているといい。
- ・ 特定グループに集中して補助をすれば対策は進むが、それ以外の大多数に取り組みをどう広げていくか考える必要がある。

#### 【決定事項】

各委員が資料9について、次の意見を事務局に提出し、次回部会でそれを基に審議を進める。

- ① 「課題ごとの対応内容」各項目について加除修正の確認、
- ② 「活動計画（案）」について「☆1. 特定グループを対象とするモデルプロジェクトの実施」「☆2. 学校教育との連携」のどちらを進めていくか、またはそれ以外の活動計画案があるか、
- ③ 「活動計画（案）」について、もっと具体的な手法があればその手法について、

#### (2) その他

##### ① 全体会資料の確認

資料8-1について、「耐震性が不十分な」を「耐震補強が必要な」に修正するなど語句を統一する。

##### ② 村主部会長から、すみだ防災・耐震補強フォーラムの紹介

##### ③ 今後の部会の予定

平成25年3月12日（火）午後3時から 第4会議室

以上